

送り状

2021年8月5日

横浜市長選挙への立候補予定者 各位

青年法律家協会弁護士学者合同部会神奈川支部

議長 弁護士 小野 通子

前略、失礼いたします。

私たち青年法律家協会弁護士学者合同部会神奈川支部は、神奈川において、憲法を擁護し平和と民主主義および基本的人権を守ることを目的に活動する、弁護士と学者の団体です。

今般、8月22日の横浜市長選挙に立候補を予定されている方々に対して、選挙の主要な争点となっている「IR誘致問題」について、別紙1のとおり、公開質問状をお送りさせていただることと致しました。

今回の横浜市長選挙において、論じられるべき課題は、「IR誘致問題」のみではありませんが、「IR誘致問題」は主要な争点であるのみならず、有権者にとって、立候補予定者各位が、横浜市の将来像についてどのようなビジョンをお持ちであるかを知る意味で、非常に重要なポイントであると考えています。

また、仮にIR誘致を進める立場に立たれるとすれば、「IR誘致」自体、ギャンブル依存症、マネーロンダリング、青少年への影響、治安の悪化等の諸問題を内包しておりますので、当然、これらについても、どのように解決していくお考えであるのかが問われることとなります。

以上のことから、今回の公開質問状は、「IR誘致問題」に焦点を当てることとした次第です。

立候補予定者各位におかれましては、横浜市の有権者に対し、本公開質問状に対してお考えをきちんと示していただくことで、誰に投票すべきかの資料をご提示いただけるものと思います。今回の横浜市長選挙がより意味のあるものとなるよう、ぜひ、本公開質問状に対し、誠実にお答えいただきたいと切に願っております。

なお、横浜市長選挙は、今月8日が告示日、わずか2週間後の今月22日が投開票日となっており、その前に、立候補予定者各位のご回答を有権者に対して公表したいと考えておりますので、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、8月12日（木）までに、別紙2記載の回答先・弁護士馬奈木幹宛てに、郵送、FAX、メールのいずれかの方法で、ご回答いただきたいきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

草々

(別紙 1)

質問事項兼回答書

- 1 あなたが横浜市長になった場合、横浜市への IR 誘致については推進しますか。それとも中止しますか。
- 2 あなたが 1 について推進あるいは中止とする理由を具体的にご説明下さい。
- 3 (1 について、IR 誘致を中止すると答えた方へ) あなたが横浜市長の在任中は誘致を行わないということですか？それとも、情勢が変われば、方針を変更して IR 誘致を推進する可能性はありますか。
- 4 (3 について、情勢が変われば、方針を変更して IR 誘致を推進する可能性があると答えた方へ) 今後、方針を変更して IR 誘致を推進するのは具体的にはどのような状況となった場合を想定していらっしゃいますか。
- 5 (1 について、IR 誘致を推進すると答えた方へ) 日本では、ギャンブル依存症患者と診断されている患者の人口比は、諸外国に比べて高いとの統計結果もあり、さらに IR 誘致を推進すると、ギャンブル依存症患者を増加させるのではないかとの指摘もありますが、IR 誘致によってギャンブル依存症患者を増加させるリスクについてはどのようにお考えですか。具体的にお答えください。

6 (1について、IR誘致を推進すると答えた方へ) IRを誘致すると、ギャンブル依存症の問題だけでなく、マネーロンダリング等の犯罪の増加、青少年への影響、治安の悪化等のリスクが指摘されていますが、IR誘致によって生じ得るこれらのリスクについてはどのようにお考えですか。具体的にお答えください。

7 IR誘致を含む、これから横浜市の市政に関する重要な政策について、住民投票を実施することについては賛成ですか。反対ですか。

8 あなたが、7について賛成もしくは反対する理由をご説明下さい。

※質問は以上になります。ご多忙のなか、ご協力いただき、ありがとうございました。

回答日 2021年8月 日

回答者名